

(2) 地域の取り組み・資源

・認知症サポーター

認知症について正しい知識をもち、認知症の方や家族を温かく見守る応援者のことです。

認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らしていくことができるよう、近所の方や商店街、郵便局、銀行、交番など地域で働く方たちが、認知症について正しく理解し、認知症の方や家族が困ったときに手助けができる、認知症サポーターを養成しています。



ひとりでも多くの方が認知症の方や家族の応援者になることが、認知症になっても安心して暮らしていくまちづくりの第一歩です。

認知症サポーターになるためには養成講座の受講が必要です。



問合せ先 高齢福祉課 家族介護支援・認知症担当

TEL 21-3081

・介護マーク

認知症の方の介護は、周りから見ると介護をしていることがわかりにくいいため、誤解や偏見を受けることのないよう、介護中であることを周囲に理解していただくために、介護マーク（名札）を作成し、希望する方に配付しています。



配付場所：市役所、各支所、各地域包括支援センター

子育てと親の介護を同時にしている世帯（ダブルケア）が増えています



子育てと介護の同時進行の大変さは、外からは見えにくく、認知症の方を介護していることは周りからはわかりづらいものです。

「まわりに話せる人がいない」「理解をしてもらえない」「余計な気をつかわれたくない・・・」など介護のことを身近な方には話しづらいと思う方も多いのではないのでしょうか。

「大変さをわかってもらえない」というのは気持ちがいしんどくなる理由のひとつでもあります。

自分の思いを話すことで、気持ちが楽になるときもあります。

相談先 高齢福祉課 家族介護支援・認知症担当 TEL 21-3065

・家族会

同じ悩みを持つ仲間同士で気持ちの共有や情報交換ができる場です。

介護している方、看取った方、関心と理解をもって応援して下さる方が会員となり、「会報発行」「集い」「電話・来所相談」や、「もの忘れカフェ」を開催しています。



問合せ先 函館認知症の人を支える会

若松町33-6 函館市総合福祉センター「あいよる21」3階

TEL 27-4060 木曜日 10時~15時

・認知症カフェ

認知症カフェは、「認知症の方とその家族、地域の方などどなたでも参加できるつどいの場」で、認知症に詳しい相談員（専門職）が参加しており気軽に相談できる場です。

市内各地で開催されています。茶話会もありますのでお茶を飲みがてらお話しませんか。







問合せ先 高齢福祉課 家族介護支援・認知症担当

TEL 21-3081

各地域包括支援センター 裏表紙一覧

・男性家族介護者のつどい


男性ならではの介護の悩みなど、介護者同士が交流ができるつどいの場です。

各回様々なテーマのミニ講話があり、専門職への個別相談も可能です。

日々の介護の中、ちょっとだけ一息つける・・・そんな場所です。

どうぞお気軽にお越しください。





問合せ先 高齢福祉課 家族介護支援・認知症担当

TEL 21-3065